

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和2年度 第1回理事会 議事録

令和2年4月29日(水)10時20分、インターネット会議システム Zoom を使用し、Web 会議形式にて、理事18名、監事2名出席の下に理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定(一部継続審議)の上、12時20分散会した。

日時：令和2年4月29日(水) 10:20~12:20

場所：インターネット会議システム Zoom を使用し、Web 会議形式で実施。

出席：(理事)大場、寺門、小森、山倉、笥、細田、大内、荒井、武士、若山、唯根、吉田
新堀、服部、田中、小山、藤木、柘植

(監事)小泉、西

欠席：田口、宇都木、小田部、土橋、磯、関、小坪

書記：荒井(総務部長)

理事会定足数：理事18名の参加があり、理事会成立となる。

会計監査：9:00~ 出席：(理事)大場、小森、大内、武士、荒井 (監事)小泉、西

【I 審議事項】

1. 令和元年度(2019年度)事業報告の承認の件 (大内事務局次長) →承認
・昨年度の事業報告が完成した。理事会で承認をいただき、総会議案書を作成し総会にて会員への報告を行ないたい。
・総会にて承認されれば、事業報告書を茨城県へ提出する。(電子申請の締め切りは6月末日。)
<審議結果>
・令和元年度事業報告について出席理事より承認された。一部修正の上、総会議案書を作成し会員への郵送を行っていく。
2. 監事監査報告内容(令和元年度決算報告及び令和2年度予算、遊休財産の推移)について (武士財務部長) →承認
・理事会前に会計監査を行い、両監事より財務諸表が適正に作成されており、会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認められた。
・当法人の昨年度の運営状況として、研修会収入が当初予算に対し50%程度となっている。これは、臨床実習指導者研修会の収入が0ベースとなったこと、学会の参加者の減少がおおきかったことによる。
・また、研修会収入に関して、学会や研修会への参加者が減少しており、収入と収支のバランスが崩れてきてしまっている。
・管理費が当初予算より106%となっており、通信費・印刷製本費の支出が増大している。がんのパンフレットの印刷費に関して、配布先の追加における印刷があったため印刷費が増えている。
・過去2年間で遊休財産がマイナス100万円となっている。
<審議結果>
・ここ数年公益比率はクリアしているが、マイナス計上となっている。今後数年単位で各部局で予算の正常化ができるよう、収入・支出のバランスがとれるように検討していく。
・また収入に関して、現在賛助会員が1社のみなので増やせるよう働きかけをしていきたい。各病院に入っている業者等へ対しての働きかけをしていきたい。
<監事意見>

- ・固定資産について、無形固定資産が前年度に比べ 5,000 円増えている。通常であれば減っていくものなのでどのような形で計上されているのか会計社へ確認して欲しい。
- ・研修会収入に関しては外部要因もあるが、経費に関しては、いくつかの項目で超過をしているところがあった。今後、各部局は事務局と連携し、現実的な数値での予算を検討する必要がある。各局から上がってきた予算案に近い形で業務遂行できるように各局で業務遂行の精度をあげていく必要がある。

3. 代議員制度について (荒井総務部長) →承認・継続審議

- ・代議員制度導入にあたって、定款変更を行う必要がある。理事会にて定款変更についての承認をいただき、総会にて今後の代議員制度の導入について報告し承認を得ていく。
- ・総会にて承認が得られれば、令和 2 年度の常任理事会・理事会を通じて定款変更と代議員選出規程を作成し令和 3 年度の総会にて会員より承認を得て、令和 4 年度からの導入を考えている。

<審議結果>

- ・出席理事より、代議員制度導入に関して承認を得た。今後、総会での報告・承認を経て定款変更、代議員選出規程の作成にあたっていく。

4. 令和元年度台風 19 号に伴う会費免除申請について (荒井総務部長) →承認

- ・令和 2 年 3 月 31 日の締め切り時点で罹災証明書と共に 2 名の申請があった。承認について確認。

<審議結果>

- ・出席理事より異論無く承認となる。
- ・災害に伴う会員の支援とは少し離れるが、今回の新型コロナウイルスの影響で経済的な損失を受けた会員がいれば、今後当法人としてサポートできることを検討していく。
- ・特に、個人で起業している会員などは被害があると考えられるため各会員の状況についてアンケートなどを通してリサーチしていく。

5. 2020 年度 県士会主催研修会運営について (寛教育学術局長) →承認・継続審議

- ・新型コロナウイルスの影響により、集合型研修会の開催が難しくなっていることを鑑みて、オンラインでの研修会運営のあり方について検討したい。
- ・運営方法は、e-learning を用いた動画配信か Zoom を用いたリアルタイム配信が考えられる。
- ・e-learning は、受講者は時間に捉われず受講ができるが、システム構築に専門的な知識とソフトが必要であり、ランニングコストとして月々 50,000~70,000 円が発生する。また、講師謝金を規定していないので、実施にあたっては整備が必要となってしまう。
- ・Zoom を用いたリアルタイム型オンライン配信は、従来の集合型研修会を踏襲した運営システムが利用できる。Zoom 接続案内について詳細なものを作成する必要がある。また、オンライン環境のない会員をどう扱うかを検討したい。
- ・その他に研修費徴収方法、生涯教育基礎ポイント付与方法、新入会員の参加方法などの課題についても検討が必要。

<審議結果>

- ・現状を踏まえると、Zoom を用いたリアルタイム配信が現実的である。
- ・研修参加は事前受付とし、事前に会員かどうかをチェックし、名簿を作成する。
- ・資料およびミーティング ID の配布は Google classroom を用いて行う。もし、参加者が接続不良等で聴講できなかった場合も、動画配信による対応が可能となる。
- ・受講参加確認は講師以外の受付スタッフが、研修中に参加者の名前を確認する。
- ・ポイントは日本作業療法士協会の方針が定まるまで名簿を保管しておき、年度末にまとめて付与する。
- ・研修費の徴収については、銀行振り込みとキャッシュレス決済が考えられるが、キャッシュレス決済は誰が入金しているのか管理側にわからない事もあり、銀行振り込みとする。
- ・年間 11 回の研修会を予定しており、現在の当法人の通帳で管理するとどの研修会の参加者からの入金かわからなくなってしまう。
- ・研修会以外の振り込みとの確認も煩雑化してしまい、財務部の負担が増加してしまうため、研修費を徴収するための通帳を作成し教育学術局で管理していく。財務部と連携し、研修費の管理システムを構築する。

- ・講師については、今年度は、理事もしくは頻繁に受けてくださっている先生を中心に選定する。
- ・オンライン環境が整っていない会員に対しては県士会として環境の調整をしてあげること必要と考えている。例えば、茨城県立医療大学の講義室をお借りして、3密を避けてWi-fi環境を整えた上で参加してもらうなどの対応も検討していく。
- ・研修会への参加は、新入会員が多いため郵送物での案内やHP上での案内を行っていく。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 総会について（荒井総務部長）

- ・令和2年6月7日（日）10：00～Zoomを使用してWeb開催にて社員総会を予定している。
- ・5月10日までに参加登録が必要であり、会員へ総会開催の案内文を郵送した。
- ・本日会計監査が終了したため、総会議案概要書のデータを完成させ、委任状とともに郵送手続きに入る。5月14日以降に各会員へ郵送予定。
- ・当日役割は、議長・資料投影操作：大場会長、議事進行：大内事務局次長、定足数・挙手人数確認：荒井総務部長、書記：広報局より2名と開江総務副部長にて実施。
- ・委任状の集計は、事務局を中心に行っていく。

2. 学会進捗状況について（宇都木学会部長：寛教育学術局長代理報告）

- ・第13回茨城県作業療法学会、第6回北関東信越ブロック学会、第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会も共催となる予定。
- ・開催場所は、茨城県立医療大学を予定している。開催日程案は、令和2年12月5～6日、12月12～13日、12月19～20日（土、日）で検討している。学内行事がコロナの影響で変更になる場合は、会場使用についても影響が出る可能性が大きい。
- ・参加費は、茨城県作業療法士会および北関東信越ブロックの県作業療法士会会員（其他都道府県士会所属も含む）は3,000円、茨城県作業療法士会非会員は6,000円、作業療法士以外の、医療・福祉専門職は3,000円、一般の方・作業療法士養成校学生は無料とする。
- ・一般演題募集の案内は、2020年7月1日（水）～2020年7月31日（金）で実施する。
- ・1日目は14：30～の開催でOTのみの参加とする。プログラムは、特別講演にてパラリンピック関連、中堅者発表にてショートレクチャーを含む教育的な内容を考えている。
- ・2日目は、リハケア学術集会との合同での開催を想定している。
- ・プログラムは、教育講演に地域関連について宇田薫先生に依頼予定。内諾はほぼ得られており、日程が確定後に講師依頼を行う。ランチョンセミナーに自動車関連について佐藤誠先生に依頼予定。内諾はほぼ得られており、日程が確定後に講師依頼をしていく。その他、シンポジウム、一般演題発表を予定している。
- ・上記候補日についてリハケア学会諸岡理事長の意向を考慮して開催日を決定する。
- ・日程確定後に、開催要綱の確定、一般演題募集要項の確定、ポスター作製、北関東信越ブロック学会共催県士会への案内を行う。
- ・県内会員への一般演題募集要項は4月の定期郵送にて周知を行う。
- ・現状は学会開催の方向として準備を開始するが、国や県、協会より年度内中止の要請が出た場合などには中止とすることもあり得る。
- ・学会開催が困難な場合は機関誌の作成や発表データの観覧等にて対応も検討していく。8～9月頃に最終判断を想定している。

3. 次回、第2回理事会について（荒井総務部長）

- ・令和元年6月7日（日）総会終了後（11：30～）、WEB会議にて開催の予定。

以上